

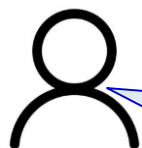


取り組み

つながる防災セミナー(外国人向け防災セミナー)

宮崎県は台風が通過しやすい場所にあることから台風による風水害から身を守るための基礎知識が必要となります。また、南海トラフ大地震が発生した場合に、沿岸地域が大津波の被害を受けることが予想されています。

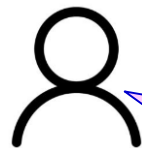
宮崎大学では、宮崎市役所、宮崎県国際交流協会、国際協力機構(JICA)九州センター、NPO団体などと連携して、在住外国人向けに、台風や地震などの自然災害の多い日本で生活するうえで、災害時も、自らの安全を確保するために必要不可欠な知識などを身につけてもらうことを目的とした防災セミナーを実施しています。セミナーでは、宮崎市の防災アプリ等に関する説明や、体験型ブース(防災グッズの種類及び使い方、大学周辺のハザードマップ及び避難所・危険箇所、雲と竜巻が発生するメカニズムと実験)を体験するなど、外国人にとっても、災害を自分事として捉えてもらえる内容にしています。



参加者の感想

「(日本は)地震が多く不安でしたが、本セミナーで防災について知ることができた」

「地震のない国から来たので、本セミナーはとても勉強になった」



参加者の感想

「とても良いセミナーだったので、もっと多くの外国人にも参加してほしい」

「やさしい日本語を使って説明してくれてとても嬉しかった」

